

『びわ湖経済論集』論文執筆/投稿規定・マニュアル

I. はじめに

1. 運営団体

本『びわ湖経済論集(以下、びわ論)』の発行母体は、滋賀大学大学院経済学研究科(以下、本研究科)の大学院生(以下、院生)によって運営される「滋賀大学大学院経済学研究科院生会(以下、院生会)」の中にある「滋賀大学大学院経済経営研究会(以下、本研究会)」である。

2. 『びわ集』の目的

- ①びわ論への投稿論文作成による、本研究科院生の学術論文作成能力の向上。
- ②投稿論文を滋賀大学学術情報リポジトリ(以下、リポジトリ)に登録、公開することによる、研究者としての自覚を促すとともに、滋賀大学以外の研究者との研究面での交流と、研究者としての人脈形成の機会をつくること。
- ③結果として、びわ論に掲載された論文は、本研究科博士後期課程の学位申請資格認定にあたり、公開論文1編(査読なし)と見なされる。

II. 総則

1. 投稿資格者

以下のAとBのどちらかに該当している者。

- A 本学経済学研究科(博士後期課程・博士前期課程)に在籍している者。
- B 投稿時に本学経済学研究科を修了して原則3年以内で、かつ常勤の研究職に就いていない者。

ただし、本会が認めた場合はこれに限らない。

2. 投稿条件

- (1)上記A該当者は、指導教員1名からの投稿同意を得ていること。(本章第3節および第4節参照)
- (2)上記B該当者は、以下の条件のすべてを満たしていること。
 - 1) 滋賀大学に所属する教員1名(名誉教授を含む)から投稿同意を得ること。
 - 2) 1回の募集期間内で投稿できる原稿は1件。ただし、本会が認めた場合はこれに限らない。

3. 投稿論文著者指導教員の投稿同意取得

本書添付資料付図1に示す「『びわ湖経済論集』投稿同意書(以下、投稿同意書)」に、投稿者による必要事項記入の上、同意者、所属、連絡先、投稿論文へのコメント欄を、同意者である指導教員に記述していただく。論文投稿時に記入済の本同意書PDFを投稿論文に添付し、編集委員長宛にメールで送る。(第IV章、第2節)

参照) なお、投稿同意書 Word 版は、院生会ホームページ(以下、HP) <https://shigadaiinseikai.jimdofree.com> 中のメニュー「投稿方法」からダウンロードができる。

4. 投稿論文に対する本会の責任範囲

本研究会は「投稿同意書」の受領によって、投稿者の投稿論文が学術論文としての水準をクリアしているものと判断する。剽窃などの不正や問題に対して、本研究会は一切その責任を負わない。また、本研究会は投稿論文の添削・編集を一切行わない。投稿論文が本規定に定める論文執筆・投稿条件に適合しているのかどうかだけの確認を行い、適合していなければこの投稿論文を投稿者へ返却する。(第IV章、第3節参照)

本研究会は、リポジトリに登録される「びわ論」という学術論文集に掲載された論文を公開する媒体を提供するのみである。その学術論文そのものに対する責任は、その論文執筆者本人と、びわ論への投稿を同意した指導教員が担うものとする。

5. 注意事項

- (1) 投稿者は、本書に定められた規定を遵守 すること。遵守していない原稿は受理しない。
- (2) 投稿者は、投稿論文題目、著者名、所属団体、論文本文のリポジトリでの公開と、読者による論文本体のダウンロードを承諾すること。この承諾が、投稿論文の受理、リポジトリ掲載の条件である。本リポジトリで公開された論文は、CiNii Research や GoogleScholar などの学術論文検索システムで検索可能となる。
- (3) リポジトリでの掲載論文本文の公開は、2023年10月発行分から適用する。過去の掲載論文は、各投稿者が「学術情報リポジトリ登録申請書(添付資料付図3)」および「学術情報リポジトリ登録公開同意書(同付図4)」を滋賀大学附属図書館図書情報サービス第一係へ提出後に公開される。いずれの Word 版も院生会 HP>投稿方法からダウンロードができる。
- (4) 投稿は他誌へ発表していない論文に限る。
- (5) 原稿の作成にあたり捏造、改竄、剽窃などの不正行為を禁止する。万が一、不正が見つかった場合、その責任は執筆者本人にあり、本会は当該論文をただちにリポジトリから取り下げる。

6. その他

『びわ湖経済論集』に掲載された論文は、本研究科博士後期課程の学位申請資格認定要件である公表論文3編のうちの1編(査読なし)とすることができる。

Ⅲ. 論文執筆規定

1. 原稿の字数制限

- ・ 研究論文は 20,000 字程度～30,000 字、A4 サイズ 2 段組 (標準 1 段 23 字×45 行) 15 頁以内。
- ・ 事例研究論文は 20,000 字程度～30,000 字、A4 サイズ 2 段組 (標準 1 段 23 字×45 行) 15 頁以内。
- ・ 研究ノート、資料は 10,000 字程度、A4 サイズ 2 段組 (標準 1 段 23 字×45 行) 5 頁以内。

※ 以上は原則であり、これを超える場合は個別相談に応じる。

2. 本文の体裁

マイクロソフト社ワード(Microsoft Word)で、作成することを原則とする。レイアウトは以下の要領に準ずる。

1. A4 横書きとし、用紙周囲の上下左右に 25mm のマージン(余白)を取る。字体は基本的に MS 明朝(英数字 century)とする。
2. 論文の表題、執筆者氏名を、以下の通り記載する。
邦文表題 : 18 ポイント MS ゴシック 太字 左寄せ 1 ページ目上から 1 行あける
邦文副題 : 10 ポイント MS ゴシック 太字 左寄せ
英文表題 : 14 ポイント century 太字 左寄せ
英文副題 : 10 ポイント century 太字 左寄せ
氏名 : 10 ポイント MS ゴシック 右寄せ、氏名の間は一文字分あける
3. 本文は 2 段組とする。1 段に全角文字で標準 23 字×45 行とし、10 ポイント MS 明朝 (英数字 century) とする。
4. 章は 12 ポイント MS ゴシック 太字、節は 10 ポイント MS ゴシック太字とする。章、節、項の表示は原則として、「1」、「1.1」、「1.1.1」とする。
5. 注釈及び参考文献は文末とし、題名は【 】を付けて 10 ポイント・MS ゴシックで【注釈】【参考文献】と明記し、本文は 8 ポイント MS 明朝 (英数字 century) とする。表記方法は「注意事項」を参照のこと。
6. ページ番号を下部中央に「1」と表記すること。
7. 図表や写真は上記マージン内側の任意の箇所に直接記載し、図表の題名は、10 ポイント MS ゴシックで表記する。図表・写真はマージン内であればサイズは問わない。尚、図表・写真も字数制限に含まれる。
8. 他から図表を転用する際には出所を明記し、必要な場合には著作権者の了解を得ること。
9. 引用文献および参考文献は本文末に一括してリストを作成し、日本語・外国語ともに第一著者名のアルファベット順に記載すること。同一著者の論文・著作等は刊行年順とし、同一年に同一著者の論文・著作等が刊行されている場合には、「1999a」「1999b」のように年号の後にアルファベットで順序をつけて区別すること。また、外国語の著書名はイタリック体で記載すること。

注. この体裁による論文本文原稿作成用テンプレート(Word 版)は、院生会 HP>投稿方法からダウンロードができる。その一部見本を本書末の参考資料に示す。

IV. 論文原稿投稿規定

1. 原稿募集・受付期間

投稿募集・受付期間は、年度毎に2度(夏募集・冬募集)とする。各募集の投稿受付期間は、毎年度、

夏募集 8月1日～20日(発行月日(リポジトリ登録) 同年9月1日)

冬募集 3月1日～20日(発行月日(リポジトリ登録) 同年4月1日)

とする。募集期間については、編集委員長からの注意喚起は行わない。投稿者は注意を払っておくこと。

注. 募集期間中に投稿論文が問題なく受理されたにもかかわらず、何らかのアクシデントが発生によりリポジトリ

登録が規定発効月日より遅れる場合、編集委員長は投稿者に連絡を取り、この旨をメールで伝える。

当該論文が学位申請資格認定要件である公表論文3編のうちの1編(査読なし)である場合、上記のメールやり取りのコピーの添付をもって論文掲載証明とする。ただし、やり取りをおこなう双方のメールアドレスは大学のメールアドレスであること。このことは、学務課大学院系の承認済である。

2. 原稿の送付方法

①びわ論の「投稿申込書兼リポジトリ登録情報(Word版)(添付資料付図2)」、②投稿論文本文電子データ(PDF)」、③「投稿同意書(PDF)(同付図1)」を添付して、編集委員長宛に以下のようにメールで送信する。

この①のWord版は、院生会HP>投稿方法からダウンロードができる。

・編集委員長メールアドレス：滋賀大学メールアドレス sxxxxxxx@st.shiga-u.ac.jp ※注2

・件名：「びわ論(投稿者氏名)」

なお、提出後に本会の許可なしに投稿原稿を修正することはできない。

注1. 大学メールアドレスを用いるのは、①大学の電子メールサーバに交信記録を残すため、②投稿者のメールセキュリティシステムにより不審メールと見なされ除去されることを防ぐためである。

注2. 実際の送付時は、その時の編集委員長の滋賀大学メールアドレスを用いる。

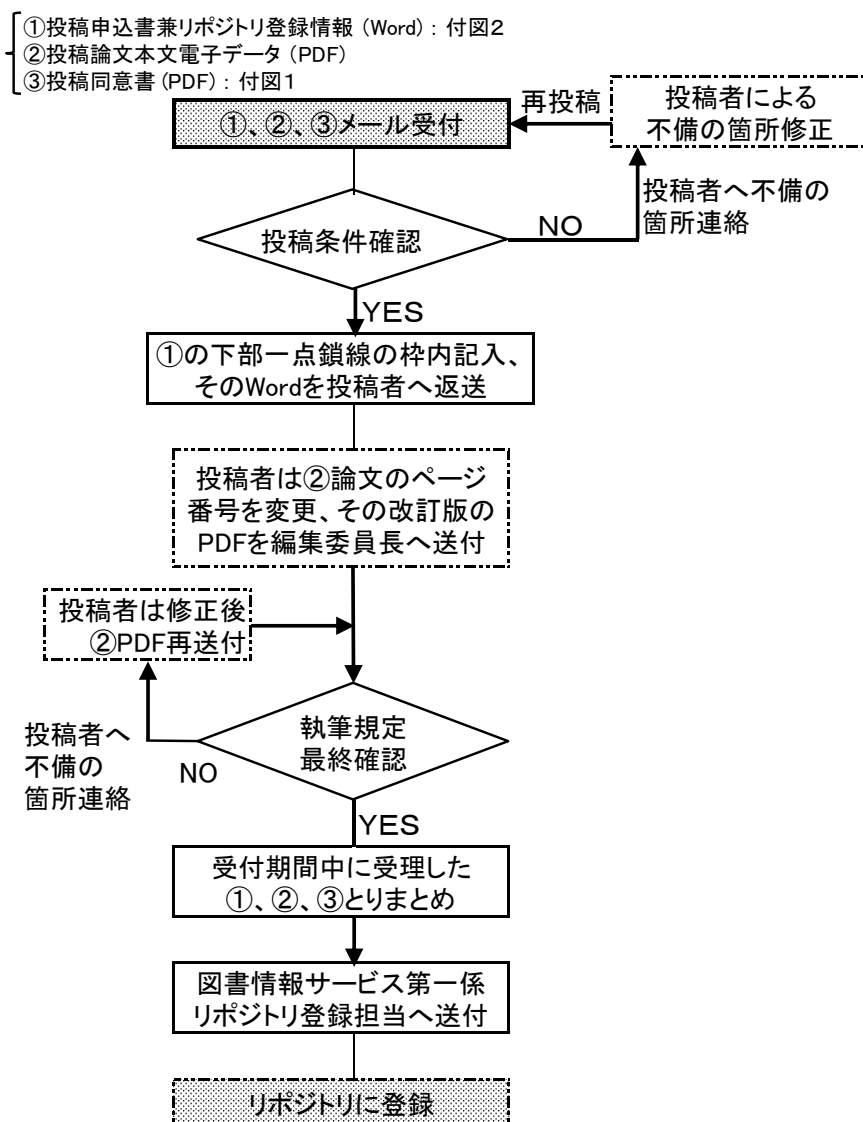
3. 原稿受付からリポジトリ登録までの流れ

- (1) 電子システムによる原稿送付からリポジトリ登録までに関わる本研究会メンバーは、編集委員長と、必要に応じてその補佐をおこなう編集委員の2名である。この電子システムによる業務フローを図1に示す。
- (2) 投稿受付期間中に、編集委員長が投稿申請メールを受領すると、編集委員長は投稿条件(本章、第2節にある①、②、③の添付)と論文執筆規定(第三章)が遵守されていることを確認し、不備がなければ一旦受理する。不備があればその旨を投稿者に連絡して、訂正、再投稿をうながす。
- (3) 原稿受付期間内にとりまとめ、リポジトリ登録のために図書情報サービス第一係へ送る論文は、受付順にページ付けをおこなう。編集委員長は、投稿者より受理した①「投稿申込書兼リポジトリ登録情報(Word)」に、各論文のページ、掲載びわ論の巻、号の番号を追記し、Wordのまま投稿者へ返送する。付記1に示したように、この追記された①は学位申請資格認定用公開執筆論文コピーの表紙とすることが可能であるため、あえてWordのまま返送する。
- (4) 投稿者は返送された①に従い論文本文のページの付け直しをおこない、この改訂版②論文本文電子版(PDF)を編集委員長へ送付する。
- (5) 編集委員長は、受け取った②がPDF化のときの文字のズレなどなく、執筆規定に則しているかの最終確認をおこない、問題がなければ受け付ける。
- (6) 編集委員長は、受付期間中に受理した論文を取りまとめ、最終的にPDF化した各論文の①と共に図書情報サービス一係リポジトリ担当へメールで送付する。
- (7) びわ論のリポジトリ登録は、創刊号より実施済である。ただし、2023年度10月発行通巻30号以前のは、論文タイトル、著者名、雑誌情報(誌名、巻、号、頁、発行日)、出版者名(滋賀大学大学院経済経営研

研究会)のみで、掲載論文の本文PDFは添付されていない。

(8)2024年度以降の投稿受付は、論文本文のリポジトリ登録、公開が前提となるが、それ以前のリポジトリ登録論文の論文本文を新たに登録して公開する場合は、「学術情報リポジトリ登録申請書(添付資料付図3)」ならびに「学術情報リポジトリ登録公開同意書(同付図4)」に必要事項を記入の上、編集委員長にメールで送付する。いずれの Word 版も院生会 HP>投稿方法からダウンロードができる。

図1 電子化システムによる業務フロー



付記 1 - 学位申請資格認定論文の表紙

本研究科博士後期課程の学位申請資格認定にあたり、公開執筆論文コピーを学務課に提出する際、本書の添付資料付図2に示した「投稿申込書兼リポジトリ登録情報(本研究会 HP>投稿方法よりダウンロード可)」のフォーマットを用いて提出論文コピーの表紙とすることが可能である(学務課確認済)。本目的で必要とされる項目がすべて記載されているため、本フォーマットにある表題を変更し、すべての空欄を埋めればよい。

添付資料

付図1 投稿同意書

『びわ湖経済論集』投稿同意書

年 月 日

* 同意者の先生へのお願い

- 『びわ湖経済論集』は、滋賀大学大学院経済学研究科に所属する院生、または修士の研究発表の場として位置づけられる公刊論集です。
- 投稿論文の水準の向上ならび研究の促進を目的とし、投稿に際して研究者1名の同意をお願いしております。
- 学術論文としての体裁、水準をクリアーしている論文に関してのみ、署名とコメントを記入していただきますようお願い申し上げます。
- 編集委員会が添削を行うことはありません。
- 掲載論文を滋賀大学学術情報リポジトリで公開いたします。

投稿者氏名 _____
(共著の場合は全員の氏名を記入)

論題 _____

同意者 _____ (所属: _____)

連絡先 _____

投稿論文へのコメント(学術論文としてふさわしい点を中心に簡潔にご記入ください)

付図2 投稿申込書 兼 リポジトリ登録情報

『びわ湖経済論集』投稿申込書 兼 リポジトリ登録情報

※〇〇〇〇年〇〇月〇〇日締切

次号に投稿いたします。 申し込み日 20__年__月__日

氏名 _____ (共著の場合は全員)

所属 _____
(共著の場合は全員、所属研究科、専攻等まで)

E-mail _____

電話番号 (____) _____ (携帯など連絡の取りやすい番号)

論文の種類 論文・研究ノート・書評・翻訳 (いずれか1つに印をつけて下さい)

邦文表題 _____

邦文副題 _____

英文表題 _____

英文副題 _____

英語氏名 _____

編集者への特記事項 (何かありましたらお書きください) _____

【リポジトリ登録情報】 ※この部分は、編集委員長が記入

1. 本論文ページ _____ ページ ~ _____ ページ

2. びわ湖経済論集 第 _____ 巻 第 _____ 号 (通巻第 _____ 号)

3. 発行日 20__年__月__日

付図3 学術情報リポジトリ登録申請書

(運用指針第6関係)

滋賀大学学術情報リポジトリ登録申請書

令和__年__月__日

滋賀大学附属図書館長 殿

所 属: _____

氏 名: _____

電話番号: _____

E-mail: _____

私は、「滋賀大学学術情報リポジトリ運用指針」に基づき、下記の資料を滋賀大学学術情報リポジトリに登録することを申請します。

記

- 論文情報(論文に(1)~(4)の記載がある事項は、記載省略可。(5)は、記載必須。)
 - 論文名:
 - 掲載誌名:
 - 巻号・頁:
 - 出版年月日:
 - 雑誌等への掲載状況:
 - イ 掲載済み
 - ロ 掲載予定
 - ハ 掲載予定だが、巻号・ページなどは不確定。
 - ニ 掲載しない
- 公開時期
 - イ 公開時期を指定しない。
 - ロ 公開時期を指定する。
(令和__年__月__日以降)
- 新たに付加したいキーワード(複数可)
- 登録申請時の学術研究成果等の登録後の取扱い
 - イ 返却
 - ロ 図書館において処分

※ 上記事項に記入及び該当するものに○を付してください。

※ 申請する学術論文が電子ファイルの場合、論文以外の図、表等のファイルには、論文に対応するわかりやすいファイル名を付してください。

付図4 学術情報リポジトリ登録公開同意書

(運用指針第9関係)

同 意 書

令和__年__月__日

滋賀大学附属図書館長 殿

所 属: _____

氏 名: _____

電話番号: _____

E-mail: _____

私は、「滋賀大学学術情報リポジトリ運用指針」に基づき、下記の学術研究成果等を滋賀大学学術情報リポジトリに登録し、公開することに同意します。

記

運用指針第4で定める登録者	英文	
	和文	
研究成果名	英文	
	和文	

